

# 2011年度 第3四半期 決算概要

(平成23年度) (4-12月)

2012年1月31日

**四国電力株式会社**

I. 2011年度第3四半期 (平成23年度) (4-12月)	連結決算の概要	1. 電力需要	1
		2. 電力供給	2
		3. 収支概要	3
		4. 財政状態	5
II. 2011年度 (平成23年度)	業績予想		6
【参考】	単独決算の概要	1. 収支明細	7
		2. 財政状態	8

# I. 2011年度第3四半期 連結決算の概要

(平成23年度) (4-12月)

1. 電力需要
2. 電力供給
3. 収支概要
4. 財政状態

- 電灯電力需要は、前年同期に比べ 2.9%減の 207億77百万kWhとなった。  
このうち、電灯は、前年の猛暑による需要増の反動に加え、東日本大震災を契機とした節電の影響などから、4.8%減となった。産業用の大口電力は、生産活動の持ち直しの動きに一服感がみられることなどから、ほぼ横ばいの 0.8%増となった。
- 電力他社への融通送電等は、前年同期に比べ 8.6%増の 39億77百万kWhとなった。
- この結果、合計では、前年同期に比べ 1.2%減の 247億54百万kWhとなった。

## 電力需要の内訳

(百万kWh)

	2011年度 第3四半期	2010年度 第3四半期	前年差	伸び率	主な差異理由
電灯・電力計	20,777	21,399	▲ 622	▲ 2.9%	前年の猛暑による需要増の反動、 東日本大震災を契機とした節電の影響 など
電 灯	6,741	7,080	▲ 339	▲ 4.8%	
電 力 (うち 大口電力)	14,036 (6,245)	14,319 (6,197)	▲ 283 (48)	▲ 2.0% (0.8%)	
融 通 等	3,977	3,663	314	8.6%	
合 計	24,754	25,062	▲ 308	▲ 1.2%	

## 四国4県都の夏季平均気温

(°C)

	6月	7月	8月	9月	6-9月平均
実 績	23.7	27.1	28.3	25.0	26.0
平 年 差	0.9	0.3	0.5	0.5	0.5
前 年 差	0.3	▲ 0.1	▲ 1.4	▲ 1.4	▲ 0.7

## 大口電力の業種別需要動向

(百万kWh)

	2011年度 第3四半期	伸び率
機 械	1,423	0.9%
紙 ・ パ ル プ	1,189	5.1%
化 学	889	▲ 4.0%
鉄 鋼	682	▲ 0.1%
織 維	288	▲ 0.9%
そ の 他	1,774	1.0%
合 計	6,245	0.8%

- 水力発電電力量は、ほぼ前年同期並みとなった。
- 原子力発電電力量は、伊方1、3号機の運転再開遅れによる稼働減などから 51億kWh減少した。
- この結果、火力発電電力量は、46億kWhの増加となった。

## 発電電力量の内訳

		(百万kWh)																									
		2011年度 第3四半期	2010年度 第3四半期	前年差	備考																						
水	力	2,935	2,897	38	・出水率 97.9% → 113.9%																						
原	子	6,520	11,632	▲ 5,112	・設備利用率 87.2% → 48.9%																						
火 力	石 炭	71.6%	73.9%	▲2.3%	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="4">(百万kWh)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">2011年度 第3四半期</th> <th rowspan="2">前年差</th> </tr> <tr> <th>電力量</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自社火力</td> <td>11,251</td> <td>64%</td> <td>3,226</td> </tr> <tr> <td>他社火力</td> <td>6,213</td> <td>36%</td> <td>1,352</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>17,464</td> <td>100%</td> <td>4,578</td> </tr> </tbody> </table>	(百万kWh)					2011年度 第3四半期		前年差	電力量	構成比	自社火力	11,251	64%	3,226	他社火力	6,213	36%	1,352	合 計	17,464	100%	4,578
		(百万kWh)																									
		2011年度 第3四半期		前年差																							
		電力量	構成比																								
自社火力	11,251	64%	3,226																								
他社火力	6,213	36%	1,352																								
合 計	17,464	100%	4,578																								
		12,502	9,518	2,984																							
	石油ほか (うちLNG)	28.4%	26.1%	2.3%																							
			4,962	3,368	1,593																						
		(1,773)	(1,444)	(329)																							
	計	100%	100%																								
			17,464	12,886	4,578																						
新	工	360	328	32																							

※上段口内は火力発電電力量の構成比

- 売上高は、需要の減と燃料価格の上昇に伴う燃料費調整額の増が相殺され、電灯電力収入はほぼ横ばいとなったが、融通収入の増などにより、109億円の増収となった。
- 営業費用は、坂出LNGプロジェクト関連の減価償却費などが減少したが、伊方1、3号機の運転再開遅れに伴う火力発電受電量の増や燃料価格の上昇により需給関連費(燃料費+購入電力料)が増加したことから、284億円の増加となった。
- この結果、営業利益、経常利益は共に175億円の減益となり、四半期純利益は105億円の減益となった。

(億円)

	2011年度 第3四半期	2010年度 第3四半期	前年差	伸び率
売上高	4,394	4,285	109	2.6%
営業費用	4,119	3,835	284	7.4%
営業利益	275	450	▲ 175	▲ 38.9%
支払利息ほか	54	54	0	0.8%
経常利益	220	395	▲ 175	▲ 44.3%
渴水準備金引当	13	5	8	152.6%
特別損失	-	88	▲ 88	-
法人税ほか	125	116	9	8.1%
四半期純利益	81	186	▲ 105	▲ 56.2%

(億円)

(差異理由：億円)

		2011年度 第3四半期	2010年度 第3四半期	比 較		
				前年差	伸び率	
売上高	電気事業	電灯電力収入	3,387	3,390	▲ 3	▲ 0.1%
		融通収入	494	343	151	43.9%
		その他収入	75	71	4	5.4%
		小計	3,956	3,805	151	4.0%
		その他事業	437	480	▲ 43	▲ 8.8%
	合計	4,394	4,285	109	2.6%	
営業費用	電気事業	人件費	468	429	39	9.2%
		燃料費	852	554	298	53.7%
		購入電力料	625	484	141	29.2%
		減価償却費	483	564	▲ 81	▲ 14.4%
		修繕費	477	482	▲ 5	▲ 1.0%
		原子力バックエンド費用	106	152	▲ 46	▲ 30.0%
		その他費用	708	733	▲ 25	▲ 3.4%
		小計	3,722	3,401	321	9.4%
	その他事業	397	434	▲ 37	▲ 8.4%	
	合計	4,119	3,835	284	7.4%	
営業利益		275	450	▲ 175	▲ 38.9%	
	支払利息ほか	54	54	0	0.8%	
経常利益		220	395	▲ 175	▲ 44.3%	
	湯水準備金引当	13	5	8	152.6%	
	特別損失	-	88	▲ 88	-	
	法人税ほか	125	116	9	8.1%	
四半期純利益		81	186	▲ 105	▲ 56.2%	

### 【電灯電力収入】

- ・需要の減(▲114)
- ・燃料費調整額の増など(+111)

### 【融通収入】

- ・融通送電量の増(+42)
- ・融通単価上昇による増(+109)

### 【その他事業収入・費用】

- ・22年度 風力発電所建設工事等の完成による反動減(▲52) 他

### 【人件費】

- ・年金資産運用悪化による増(+38) 他

### 【需給関連費（燃料費＋購入電力料）】+439

- ・伊方1・3号機運転再開遅れによる増(+350)
- ・需要の減(▲20)
- ・燃料価格の上昇による増(+120) 他
- [CIF価格上昇+190、為替円高▲70]

	2011年度 第3四半期	2010年度 第3四半期	前年差
原油CIF価格(\$/b)	113	80	33
石炭CIF価格(\$/t)	141	111	30
為替レート(円/\$)	79	87	▲ 8

### 【減価償却費】

- ・坂出發電所LNGプロジェクト関連の減(▲63) 他

### 【原子力バックエンド費用】

- ・原子力発電量の減少による減

### 【特別損失】

- ・22年度 資産除去債務会計基準適用に伴う  
原子力発電施設解体引当金の追加引当の反動減(▲88)

### 【法人税ほか】

- ・法人税率引下げに伴う繰延税金資産の取崩しによる増(+43)
- ・経常利益等の減少による減(▲34)

- 資産は、償却進捗などにより 90億円減少した。また、負債は、社債・借入金が増加したため 13億円増加した。
- 純資産は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少や自己株式の増加(純資産の減少)などにより 102億円の減少となった。
- この結果、自己資本比率は 0.5%低下し、24.9%となった。

(億円)

	2011年度 第3四半期末	2010年度末	増 減	主な増減理由
資 産	13,708	13,798	▲ 90	設備投資 372(核燃料除く)、減価償却費 ▲555 核燃料の増 73 他
負 債	10,297	10,284	13	
（うち社債・借入金）	(6,648)	(6,578)	( 70)	
（うち引当金等）	(3,649)	(3,706)	(▲ 57)	
純 資 産	3,411	3,513	▲ 102	
（うち利益剰余金）	(2,158)	(2,212)	(▲ 54)	四半期純利益 81、配当金 ▲135
（うち自己株式）	(▲537)	(▲494)	(▲ 43)	取得 249万株
自己資本比率	24.9%	25.4%	▲ 0.5%	

## Ⅱ. 2011年度 業績予想 (平成23年度)

- 売上高は、総販売電力量が減少するものの、燃料価格の上昇に伴い燃料費調整額が増加することなどから、前年度並みの5,950億円程度を見込んでおり、平成23年4月に公表した数値から変更していない。
- 一方、利益は、定期検査中の伊方発電所の運転再開時期が不透明な状況にあることなどから、未定としている。

(億円)

	2011年度予想 (平成23年度)	2010年度実績 (平成22年度)	前年差	伸び率
売上高	5,950	5,921	29	0.5%
営業利益	-	600	-	-
経常利益	-	479	-	-
当期純利益	-	236	-	-
1株当たり当期純利益	-	111円	-	-

### 【諸元】

(億kWh)

		2011年度予想 (平成23年度)	2010年度実績 (平成22年度)	前年差
電力 需要	電灯電力	288	291	▲3
	融通等	48	51	▲3
	合計	336	342	▲6

	2011年度予想 (平成23年度)	2010年度実績 (平成22年度)	前年差
原油C I F 価格 (\$/b)	110	84	26
石炭C I F 価格 (\$/t)	140	114	26
為替レート (円/\$)	80	86	▲6

## 【参考】単独決算の概要

(億円)

(差異理由：億円)

		2011年度 第3四半期	2010年度 第3四半期	比 較	
				前年差	伸び率
売上高	電 気 事 業				
	電 灯 電 力 収 入	3,387	3,390	▲ 3	▲ 0.1%
	融 通 収 入	494	343	151	43.9%
	そ の 他 収 入	84	80	4	6.0%
	小 計	3,966	3,813	153	4.0%
	そ の 他 事 業	80	70	10	13.6%
	合 計	4,046	3,884	162	4.2%
営業費用	電 気 事 業				
	人 件 費	468	429	39	9.2%
	燃 料 費	852	554	298	53.7%
	購 入 電 力 料	625	484	141	29.2%
	減 価 償 却 費	483	564	▲ 81	▲ 14.4%
	修 繕 費	477	482	▲ 5	▲ 1.0%
	原 子 力 バ ッ ク エ ン ド 費 用	106	152	▲ 46	▲ 30.0%
	そ の 他 費 用	733	759	▲ 26	▲ 3.4%
	小 計	3,747	3,427	320	9.3%
	そ の 他 事 業	80	60	20	33.3%
	合 計	3,827	3,487	340	9.8%
営 業 利 益		219	397	▲178	▲ 44.8%
	支 払 利 息 ほ か	45	38	7	18.9%
経 常 利 益		174	359	▲185	▲ 51.5%
	濁 水 準 備 金 引 当	13	5	8	152.6%
	特 別 損 失	-	88	▲ 88	-
	法 人 税 等	96	96	0	0.4%
四 半 期 純 利 益		64	169	▲105	▲ 62.2%

### 【電灯電力収入】

- ・需要の減(▲114)
- ・燃料費調整額の増など(+111)

### 【融通収入】

- ・融通送電量の増(+42)
- ・融通単価上昇による増(+109)

### 【人件費】

- ・年金資産運用悪化による増(+38) 他

### 【需給関連費（燃料費＋購入電力料）】+439

- ・伊方1・3号機運転再開遅れによる増(+350)
  - ・需要の減(▲20)
  - ・燃料価格の上昇による増(+120) 他
- [CIF価格上昇+190、為替円高▲70]

	2011年度 第3四半期	2010年度 第3四半期	前年差
原油CIF価格(\$/b)	113	80	33
石炭CIF価格(\$/t)	141	111	30
為替レート(円/\$)	79	87	▲ 8

### 【減価償却費】

- ・坂出發電所LNGプロジェクト関連の減(▲63) 他

### 【原子力バックエンド費用】

- ・原子力発電量の減少による減

### 【特別損失】

- ・22年度 資産除去債務会計基準適用に伴う原子力発電施設解体引当金の追加引当の反動減(▲88)

### 【法人税等】

- ・法人税率引下げに伴う繰延税金資産の取崩しによる増(+37)
- ・経常利益等の減少による減(▲37)

(億円)

	2011年度 第3四半期末	2010年度末	増 減	主な増減理由
資 産	13,104	13,167	▲ 63	設備投資(核燃料除く) 326、減価償却費 ▲489 核燃料の増 73 他
負 債	10,126	10,069	57	
（うち社債・借入金）	(6,619)	(6,544)	( 75)	
（うち引当金等）	(3,506)	(3,524)	(▲ 18)	
純 資 産	2,978	3,098	▲ 120	
（うち利益剰余金）	(1,694)	(1,766)	(▲ 72)	四半期純利益 64、配当金 ▲135
（うち自己株式）	(▲505)	(▲462)	(▲ 43)	取得 249万株
自己資本比率	22.7%	23.5%	▲ 0.8%	

### おことわり

本資料に含まれている業績見通し、将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績等につきましては、様々な要因により、記載されている見通し等とは異なる場合があります。ご承知おきください。

なお、実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、競争状況、気温変動等の気象状況、急速な為替や燃料価格の変動などがあります。



**四国電力株式会社**

<http://www.yonden.co.jp/>